

稲と麦の二毛作では稲わらと麦わらをすき込むと、地力が向上し、コメの収穫量が増えます

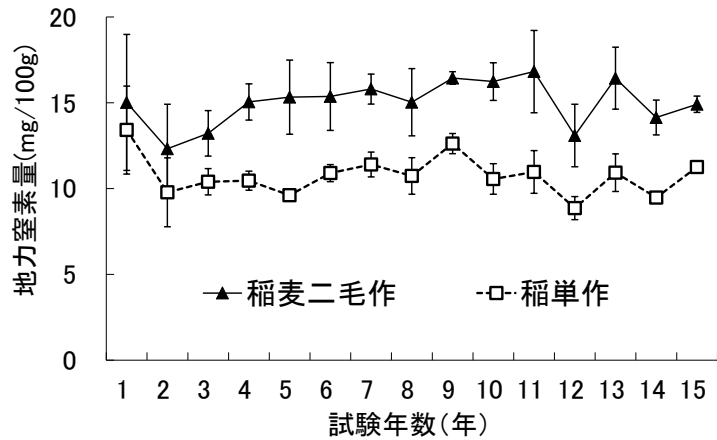
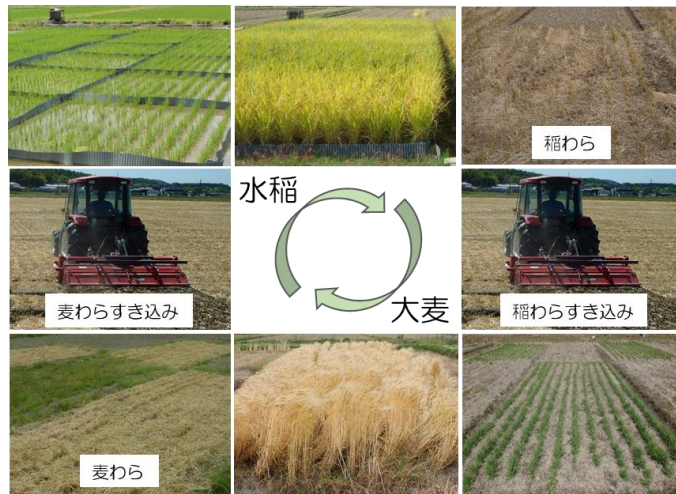


図 地力窒素量の推移(わらのすき込み有)

開発のねらい

稲と麦の二毛作では、収穫した後のわらを焼却する場合があります。しかし、わらは焼却せずにすき込んだ方が土づくりに有効です。そこで、わらのすき込みが土壌の地力窒素量やコメの収穫量に及ぼす影響を明らかにしました。

新技術の概要

- 図のように、稲わらのみをすき込んだ場合より、稲わらと麦わらをすき込んだ方が地力窒素量が増え、その結果、コメの収穫量が最大1割程度多くなります。
- 以上のように、地力の向上と環境への負担軽減のためにも、稲わらと麦わらはすき込んで、有機物資源の有効活用に努めましょう。

活用場面

本技術は岡山県内の稲麦二毛作栽培に適用できます。

稲わら・麦わらを全てすき込むと、わらの炭素が土壌中に貯留され、地力向上効果が期待できるばかりでなく、温室効果ガスの抑制効果も期待できます。